NPO法人お口の健康ネットワーク研修会

NPO Oral Health Network

日 時 平成30年 **10/14(日)**

10:30～15:30
（受付開始/10：00）
会場：朝日大学１号館
（岐阜県瑞穂市穂積1851）

講演 10:30～12:00

2040年を展望した社会保障の政策課題と歯科保健医療の方向性

消費増税を決めた2012年の「税と社会保障一体改革」の際には、いわゆる団塊の世代が全て75歳以上になる2025年までの社会保障の姿が示されました。本年5月には、我が国の高齢者人口のピークを迎える2040年の社会保障の将来推計が公表されています。この推計は「ポスト一体改革」の議論の出発点となりうるものです。

一方、6月15日に閣議決定された「骨太の方針2018」では、昨年に続いて歯科関係の記載があり、歯科口腔保健や歯科保健医療の充実が示されています。今回の講演では、このような医療政策をめぐる動向とあわせて、国が示した「歯科保健医療ビジョン」における歯科保健医療の方向性についてもお話ししたいと思っています。

講 師

厚生労働省医政局歯科保健課長 **田口 円裕** 先生

座 長　お口の健康ネットワーク　理事長　磯﨑 篤則

■講師略歴
平成元年3月　長崎大学歯学部卒
平成元年4月　長崎大学歯学部・文部教官助手（予防歯科学講座）
平成6年4月　厚生省（現厚生労働省）入省
その後、厚生労働省医政局歯科保健課課長補佐、厚生労働省保険局医療課課長補佐、社会保険診療報酬支払基金歯科専門役、厚生労働省保険局歯科医療管理官として勤務
平成28年4月より、現職（厚生労働省医政局歯科保健課長）

教育講演 13:00～14:20

歯周治療における宿主強化療法と「つまようじ法」

つまようじ法は、歯ブラシの動き方によって名づけられたブラッシング方法である。例えば、下顎前歯の唇側をブラッシングする場合は、歯ブラシの毛先をまず歯と歯肉の境目にあて、そこから毛先を斜め上に向けて“つまようじ”の要領で歯間部に押し込む。毛先が舌側に突き抜けるのが確認できたら、毛先を引き抜く。この往復運動を繰り返す。このような動きをするため、つまようじ法は歯間部における歯肉マッサージ効果が高いブラッシング方法といえる。本研修会では、歯周病に対する歯肉マッサージ効果の有効性を解説した上で、つまようじ法の特長・強みを“宿主（歯肉）強化”の観点から紹介する。

講 師　朝日大学歯学部社会口腔保健学分野 教授　友藤 孝明

実　習 14:30～15:30

「つまようじ法」ブラッシング実習

朝日大学歯科衛生士専門学校実習室のチェアを使用して実習を行います。
●体験実習コーナー：主につまようじ法の術者磨きを受けたことのない方向け
●スキルアップコーナー：相互実習などを行います。認定歯科衛生士取得希望の方の実技指導も受付けます。※認定希望の方は事前にお知らせください。（認定希望者実習：定員15名）

参加費 会員:3,000円/一般:5,000円（お弁当付・消費税込）

定員 100名　定員になり次第締め切らせていただきます

お申込 裏面の参加申込書にご記入の上、ＦＡＸにてお申込下さい。

※認定医療機関試験を受験される場合は別途受験料が必要になります。

■主催／NPO法人お口の健康ネットワーク
〒700-0953 岡山市南区西市541－1
TEL.086-250-2531　E-mail：jimukyoku@oral-health-network.jp